

闘病計画(簡易経営計画書)の成果はいかに？！

健康診断での結果をもとに、闘病計画(簡易経営計画)を立て、これに従い1年間治療を行なってきました。ここで一度、治療効果の判定(事業報告書の作成)を行なってみましょう。

① 簡易計画書の作成(目標の顕在化)



② 実施(できるところからやってみる)



③ 事業報告書の作成(改善点の顕在化)

④ 来期の簡易計画書の作成

会社の華々しい成長というものは『即席』でなされるものではありません、このサイクルの繰り返しによる1歩1歩の積み重ね、地道な努力、継続的な改善が、やがて大きな成長へと導いてくれるはずです。

Ⅰ事業報告書の必要性

不況と呼ばれる現在の状況の中で、会社が存続・発展をはかるためには、環境変化に適切に対応する必要があります。

会社が社会の環境変化に対応する行動はその時期・状況等に応じたものでなければなりません。このような環境変化への対応は、場当たりの、短絡的にはできません。こうした状況において、会社は簡易経営計画書を作成する事により、会社の目標を明らかにし、計画的に会社経営を行う事が、会社の目標達成・成長の第一歩である事は前述した通りです。

簡易経営計画書の作成の目的は、作成のみならず、その実行により業務目標を追求し、経営課題を実践し、経営目標を達成する事にあります。

しかし、この大不況の厳しい状況の中で、どれだけの会社が思い描いた通りの目標を達成できているのでしょうか。思い通りに目標を達成できている会社の方が少ないのではないのでしょうか。

簡易経営計画書を推進管理していく上で大切なのは、目標と実績の差異原因を明らかにし、その原因を解決するための対策を着実に実行していく事です。

1年間簡易経営計画書をもとに経営を行ない、その結果を振り返る事により、貴社の持つ強みや弱み、経営課題が明らかになってきます。

そこで私どもは、もう一度会社を見つめ直す手段の一つとして『事業報告書』の作成の御提案をさせて頂いております。

②事業報告書の作成

事業報告書と聞くと、難しいものを想像されるかもしれませんが、心配は不要です。特に記載のルールや形式に縛られる必要はありません。

大切な事は、折角立てた簡易経営計画を『やりっ放し』にせずに振り返り、それを今後活かす事です。

少し肩の力を抜いて、会社の『反省文』のようなものとして、当期の実績について素直に良かった点・悪かった点を自由に表現してみてください。

第 期 事業報告書

(自平成 年 月 日 ~ 至平成 年 月 日)

会社名: _____

【当期の営業の概況】

2. 人事・組織に関する状況

3. 設備・財務に関する状況

1. 商品・顧客・販売に関する状況

4. 今後対処すべき課題

* 当事業報告書以外の会社独自のフォームでも、対応は可能です

～思わないことには実現しない！！～

『思わないことは実現しません』、当たり前ですが、『こうなりたい』という目標と手段が明確であればあるほど、その実現度合いは高まります。

人でも会社でも同じです。人は『思い(夢)』を持ち、具体的な人生設計を立て、行動し実現に近づこうとします。会社の『思い(夢)』に値するものが簡易計画書です。簡易経営計画書を作成する事は『会社のありたい姿』を正面から追求する良い機会です。

不況と呼ばれる厳しい時代だからこそ簡易経営計画書を作成し、事業報告書で立てた計画を振り返る。このような一連の積み重ねが御社の将来を豊かなものにしていけると確信しています。

健康診断(一日企業診断)を経て、闘病計画(簡易経営計画書)の作成と見直しが終わりました。結果は如何でしたか？抽出された要改善点は、社内で完結するものでしたか？金融機関等外部関係者との協力が必要なものでしたか？

- ① 社内で完結するもの → 薬の投与(フローチャートの作成・IT化)
- ② 外部の協力を必要するもの → 入院による集中治療(事業再生・資金力改善立案・モラトリアム)

次は、貴社に合った具体的な治療方法(業務改善方法)を見ていきましょう。まずは、薬の投与です。

